

3rd Asian Champions Trophy

日付	2013年11月9日 15:00~16:30	天候	晴れ
場所	日本/各務原	通算結果	日本 4勝
試合	決勝戦		

Country		RESULT	Country
日本		Full Time 1 - 0	インド
JAPAN		Half Time 1 - 0	INDIA

Start	No.	Name	Card	Start	No.	Name	Card
✓	1	大家 涼子(GK)		✓	3	DEEPA GRACE EKKA	
✓	3	坂井 志帆		18	4	MONIKA	
✓	4	小野真由美		✓	6	KIRANDEEP KAUR	
✓	5	大田 昭子		✓	8	CHANCHAN DEVI THOKCHOM	
23	6	永井 葉月		✓	11	SAVITA(GK)	
✓	7	中川未由希(C)			13	RAJANI ETIMARPU(GK)	
	8	真野 由佳梨		✓	14	RITU RANI(C)	
✓	9	三橋 亜記		✓	15	POONAM RANI	Y60
✓	10	新井 麻月		✓	16	VANDANA KATARIYA	
✓	12	西村 綾加		✓	17	DEEPIKA	
	13	田中 泉樹		✓	19	NAMITA TOPPO	
9	15	永井 友理		14	21	SOUNDARYA YENDALA	
13	16	野村 香奈		22	26	SUNITA LAKRA	
✓	17	大塚 志穂		✓	27	SUSHILA CHANU PUKHRAMBAM	
	18	吉川 由華(GK)		✓	28	RANI	
	19	眞鍋 敬子		14	30	RITUSHA KUMARI ARYA	
✓	20	及川 栞		16	31	AMANDEEP KAUR	
✓	22	柴田 あかね		28	32	MANJIT KAUR	
監督 柳 承辰				監督 HAWGOOD Neil			
UMPIRE Kang Hyun Young(KOR)				UMPIRE Nurhafizah(MAS)			

Country	Min	Name	Action	Score	Country	Min	Name	Action	Score
JPN	2	新井 麻月	PC	1-0					

アジアチャンピオンズトロフィーの決勝戦は、世界ランキング12位のインドとの対戦である。

(前半)
日本のセンターパスにより試合は開始された。日本はハイプレスと強いプレッシャーを前線からしかける戦術で開始早々、相手陣内に勢いよく攻め込み、開始1分でチャンスを作る。右のロングコーナーから中川がディプレクシオンでサークル内の新井に繋げ、反則を取りPCを獲得。PCのバリエーションから及川のスラップヒットに新井がフォアで見事なタッチシュートを決め、先制点をあげた。幸先の良いスタートをきった日本だが、6分、インドにPCのチャンスを与える。パッサー返しを狙ったパスを小野がよみ、ファインセーブ。その直後にもPCを与えてしまうものの、日本の粘りある守備と前回のインド戦での守備の改善を行ったことにより、相手に得点を許さない。その後もテンポよくパスを回し、安定したビルドアップでゲームの主導権を握り、展開する。日本は14分、16分にもPCのチャンスを獲得。多様なバリエーションで相手を翻弄するが、インドのゴールキーパーの好セーブにより惜しくも得点とはならず。31分には右サイド23M付近から永井(葉)がリバースヒットでクロスボールを放ち、それに新井がタッチシュートで合わせるが、枠を捉えることができない。そのまま前半を1-0で折り返した。

(後半)
サイド攻撃を徹底することとポジションごとの動きを再確認し、後半に入る。42分、日本は中川が放ったクロスボールを、リードした大塚がレシーブし、シュートするが、相手のスティックに阻まれ追加点をあげることができず。50分を過ぎたあたりから1点差のゲームともあり、両者の激しい攻防が続く。サイドからのロングボールで攻撃のチャンスを作る日本に対して、インドはハイプレスからプレッシャーをかけてくる。両チーム共に得点を決めることができず、その後もミッドフィールドでの攻防が続いた。そして、日本は安定したゲームコントロールにより、インドに点を許すことなく試合は終了。1-0で日本はインドに勝利し、アジアチャンピオンズトロフィーを初制覇した。そして、さくらジャパンにとって史上初めてのアジア三冠を成し遂げたとともに、今年最後の大会を優勝という最高の形で締めくくった。

日本	0/3	シュート数	0	インド
	1/6	PC数	4	

記載責任者: マネージャー 前田夏希
校閲: 女子監督 柳 承辰